

申込書記入例

裏面もご参照ください。

●この記入例を参考にしてご記入ください。

黒か青のペンまたはボールペンで記入してください。
(鉛筆、シャープペンシルは使用しないでください。)

誤って記入してしまった場合は、2本線で消して書きなおしてください。

申込者や入居しようとする親族のフリガナ、漢字、生年月日が正しく記載されていないと、回数の確認ができない場合があります。

申込基準日(平成31年4月19日)現在の扶養・同居・職業の有無について、○をしてください。

事業所得者は「その他」に○をしてください。事業所得者が給与に○をした場合、給与収入として計算し、収入基準を超え、受け付けできない場合があります。

収入のある方は控除前の年間の総収入を記入してください。
※収入証明の添付は不要です。但し、当選後必要となります。

所得のない方は、必ず「0」を記入してください。生活保護受給者は「生保」と記入してください。何も記入されていないと受け付けできません。

申込者の氏名・住所(部屋番号)・生年月日・郵便番号・電話番号等を記入してください。
ここに書かれた住所に送付しますので、正確にわかりやすく記入してください。

※現住所と書類等の送付先が異なる場合、分かるように記入してください。

申込者に勤務先がある場合は必ず名称・勤務地・電話番号を記入してください。

希望する地域コードを記入してください。

単身者で申し込まれる方は必ず○をしてください。(世帯申込者は記入不要)

(39ページ参照)

該当する区分をすべて○で囲んでください。申込住宅によっては、該当しない区分もありますので、確認したうえ、選んでください。2つ以上○がある場合は、最も優遇倍率が高い申込区分で受付します。ご不明な点はお問合せください。

(64～65ページ参照)

申込者本人を含め、入居しようとする家族を全員記入してください。

該当する控除に人数と金額を記入してください。
※非婚の母子父子世帯(みなし寡婦・寡夫世帯)にも、「寡婦(夫)控除」を適用します。

(69ページ参照)

住宅に困っている理由で該当する番号すべて。

(11、37ページ参照)

申込基準日(平成31年4月19日)現在、障害者手帳または障害年金証書を交付されている方は、障害の種類に○をして、障害の等級を記入してください。それ以外の方は、無に○をしてください。(身=身体障害、精=精神障害、知=知的障害)ご不明な点がありましたらお問合せください。

第1号様式(第3条第1項)

(申込先)

横浜市長

市営住宅に入居したいので、次のとおり申し込みます。

市営住宅入居申込書

整理番号	募集年月	H31. 4	年月日	受付日												
(フリガナ) 申込者氏名	カナガワ ジロウ	性別	①男	2女												
申込者氏名	神奈川 次郎	生年月日	明大④平	39年12月5日												
(フリガナ) 現住所	ヨコハマシカナガワクサカエチョウ	郵便番号	221-0052①	電話 2 FAX 045-123-4567												
現住所	横浜市神奈川区栄町8-1	かもめアパートA-105														
勤務先 名称	〇〇商事(株)	勤務地	横浜市中区港町1-1	電話 111-1111												
申込地域コード	5152	地域コードに誤りがないか、ご確認ください。														
申込住宅	単身者でお申込みの方は、次の単身者申込資格の該当するものすべてに○を付けてください。(世帯でお申込みの場合は記入不要)															
	60歳以上 01	身体障害者 02	生活保護受給者 05	引揚者 06	ハシケン入所者 07	精神障害者 08	知的障害者 09	DV被害者 10	中国残留邦人等 11							
申込区分	「募集のしおり」64～65ページの優遇制度の説明を見て、該当するものすべてに○を付けてください。															
一般組	母 11	父 15	障害者 16	公害病 19	低所得者 20	原被爆者 23	多子 24	ハンセン病 25	子世帯 26	D被害者 27	難病患者等 28	犯罪者 29	公事共業 30	10倍優遇 3200	特認C組 20倍優遇 3226	連続5回 3100
申込者及び同居しようとする家族(5名)	氏名	性別	続柄	生年月日	年齢	障害	扶養の有無	同居別居	職業	所得の種類	年間総収入金額(円)	年間所得金額(円)				
	カナガワ ジロウ	男	本	明大④平	54	身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金	4,069,888	2,714,400				
	カナガワ ナオミ	女	妻	明大④平	51	身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金	893,600	243,600				
	カナガワ ジュンコ	女	子	明大④平	22	身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金		0				
	カナガワ テツヤ	男	子	明大④平	16	身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金		0				
	カナガワ ハルミ	女	子	明大④平	14	身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金		0				
		男		明大④平		身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金		0				
		女		年月日		身(無) 精(無) 知(無)	有	同居	有	給年金		0				
入居しない	有	氏名	続柄	年齢	合計	4,963,488		(A)		2,958,000						
扶養親族(0名)	無	住所														
控除額	①親族(本人を除く) 1人:38万円	②老人扶養 老人控除 1人:10万円	③特定扶養 親族等 1人:25万円	④寡婦又は寡夫 1人:27万円 所得27万円未満はその額	⑤障害者 1人:27万円	⑥特別障害者 1人:40万円	(B)控除額の合計		①から⑥までの合計額です							
	4人		2人		1人		2,290,000		円							
世帯の月収額	(A)年間所得金額の合計		(B)控除額の合計		÷ 12か月 =		55,666円									
	2,958,000		2,290,000													
申込者の在住・在勤期間	①市内在住 10年	②市内在勤 6か月	現在の住宅	③民間の賃貸住宅	④UR・公社等の賃貸住宅	⑤市営住宅	⑥県営住宅	⑦他人に間借り	⑧その他							
住宅困窮理由	①親族以外の世帯と同居	②狭い	③間取り不適当	④浴室なし	⑤長時間通勤	⑥住宅でない建物に居住	⑦家賃過大(78千円)	⑧婚約中	⑨立退要求	⑩身体上の制限あり						
不備コード	階層区分	1.公営原則	2.公営裁量	3.改良原則	4.改良裁量	資格	有・無・要実態	抽選番号	当選順位	入居候補者順位						

(注意) □内のみ記入してください。

※市営住宅申込書により提出していただいた情報は、市営住宅の入居事務および市営住宅の管理運営業務以外の目的には使用いたしません。

申込者本人の横浜市内の在住・在勤期間を記入してください。

現在お住まいの住宅について必ず○をつけてください。6その他に○をつけた方は具体的な内容を()に記入してください。

68～79ページの収入計算の方法を読んで、計算してください。世帯の月収額が158,000円(裁量階層214,000円)、また※のついた住宅は114,000円(裁量階層139,000円)を超えた場合は申込みできません。

(裁量階層については、12、38ページ参照)

申込みの際に間違えやすいケースです。特にご注意ください。

申込区分は該当するものすべてに○を付けてください。

単身者は世帯向住宅へ申込みできません

単身の方は、世帯向住宅には申込みできません。「単身向」のページ(42～54ページ)から地域・住宅を選択してください。

原則、70歳未満の方は高齢者向住宅へ申込みできません

高齢者向住宅への申込みについては申込者および同居者ともに年齢制限があります。

ただし、例外的に60歳から申込み可能な場合もあります。

詳しくは32、48ページをご覧ください。

※平成30年4月1日に横浜市営住宅条例が改正され、高齢者向住宅の応募資格年齢がこれまでの「65歳以上」から「70歳以上」に変わりました。

ただし、条例改正に伴う経過措置により、昭和29年1月2日以前に出生された方は、引き続きお申込みいただけます。

一定基準以上の収入がある方は、市営住宅へ申込みできません

市営住宅の申込みについては収入制限があり、一定基準以上の収入がある場合は申込みできません。

詳しくは次のページをご覧ください。

収入基準：12、38ページ

収入計算方法：68～79ページ

消印が申込最終日を過ぎている場合は、受け付けできません

募集期間の最終日を申込期限としています。申込期限を過ぎた消印を押された封筒で送付された申込書は、いかなる理由があっても受け付けできません。余裕をもってお申込みください。

また、メール便での申込みは受け付けておりません。必ず郵便局または郵便ポストで投函してください。

特認B組「低額所得者」の優遇を適用される予定の方へ

生活保護又は、支援給付受給中の方および失業期間・休業期間がある方は該当しません。

詳しくは65ページをご覧ください。

シルバーハウジング、シニア・りぶいんにお申込みの方へ

シルバーハウジング、シニア・りぶいんには緊急通報システムが設置されており、生活援助員の派遣が週2回、うち1回は安否確認のため、ご自宅へ訪問します。(付随サービスのため、断ることはできません。)

行政区単位募集、市内全域【住宅指定なし】(単身者可)にお申込みされる場合、住宅を選ぶことはできません。

「階数指定なし」にお申込みされる場合、階数を選ぶことはできません。